

課題懸案事項

- ・申請者は、市が考える現状の課題懸案事項を踏まえ、「様式 2 事業計画書」において改善策等を可能な範囲で提案すること

施設名	豊田市平戸橋いこいの広場・ 平戸橋公園・豊田市民芸館・ 豊田市本多記念民芸の森	所管課	博物館 民芸館
-----	---	-----	---------

○申請者に提案等を期待する案件

区分	課題懸案事項
施設運営面に関する事項	・公園内の自然環境を生かした管理運営の提案及び、桜まつり以外の民芸館、民芸の森等との連携した 4 施設の回遊性を高めるような事業等の検討 ・若者（10 代～30 代）の来館者や新規受講者が増加するようなイベント、体験講座等の検討 ・民芸館への利用者数（令和 6 年度 58,776 人→令和 7 年度 68,578 人）は増えているが、民芸の森への来館者（令和 6 年度 19,129 人→令和 7 年度 18,684 人）は伸び悩んでいる。来館者増に向けて地元団体等の活力も生かせる事業の検討 ・貸館である、茶室勘桜亭や民芸館ギャラリーの積極的な活用策の検討
その他	・近隣に飲食店が少ないため、滞在時間が短い。昼食や軽食など、既存店に影響を与えない範囲でのサービスの提供の検討

○その他施設設置者である市の課題案件（提案不要）

区分	課題懸案事項
設備・構造に関する事項	・どの施設も長年の使用により、設備の老朽化が見受けられる。日常の簡易点検。故障時における応急処置、小規模修繕の対応が必要となる。 ・施設の内容がわからない市民が多く、案内等施設 P R が必要不可欠である。 ・平戸橋駅からの徒歩経路、車で来館した際の駐車場が分かりにくいなどの苦情が寄せられており、案内等の PR が必要。
その他	・平戸橋公園内の漏水。天候にかかわらず通路、芝生法面がぬかるんでおり、利用者に注意喚起が必要。 ・平戸橋公園内、民芸の森の立木の高樹齢化が進んでいる。倒木・落枝などの注意監視に加え、定期的な枝打ち、伐採が必要。 ・民芸の森は民家に隣接しているため、賃貸物件の住民等から落ち葉や雑草に対する苦情が寄せられている。定期的に剪定、草刈りなどの清掃が必要。 ・敷地内に文化財施設（民芸館：旧井上家住宅西洋館、民芸の森：旧海老名三平宅）があり、老朽化が進んでいる。修繕にあたっては、文化財課等との協議が必要。 ・当初は、民芸の森の管理運営に市民団体との共働が織り込まれており、現在は NPO 法人（民芸の森倶楽部）が森の手ざわり（5 月）、観月会（10 月）を実施している。今後の関係性、関わり方が課題。 ・桜まつりのステージイベントの内容について協議会等でマンネリ化を指摘されている。新規の出演者等の工夫や内容の検討が必要。